

ホームルーム活動（人権）学習指導案

1. 主題 災害と人権

2. 主題設定の理由（省略）

3. ねらい

災害時において、避難者一人一人に配慮した避難所運営を通して、周囲の人々の抱える課題を理解し、個人を尊重した行動をとることができるようにする。

4. 指導計画

第1回 人権に関する意識調査より

第2回 インターネットによる人権問題

第3回 身の回りのさまざまな人権問題

第4回 災害と人権【本時】

第5回 身の回りの差別（部落史に学ぶ）

第6回 障がい者と人権

5. 本時の学習

（1）目標

模擬的に避難所を運営する活動を通して、災害時は自分のことだけでなく、他者に配慮する気持ちが必要であると気付かせ、相互の協力と理解によって人権に配慮した避難所運営の方法を考え、発表させる。

（2）普遍的な学習のテーマ・・・個人の尊重

個別人権課題名・・・災害時における人権問題

（3）展開

展開	学習活動	指導上の留意点	評価
事前準備	○5人グループに分かれて役割分担をしておく。 (リーダー、発表、カード読み、イベント対応×2) ○タブレットを起動させる。	○あらかじめグループ分け、役割分担はしておき、円滑にゲームに入れるようにする。 ○全員がタブレットを起動して準備ができているか確認する。	

<p>導入 5分</p>	<p>○本時の目標を理解する。</p> <p>○近年の災害と被害の様子を、写真を見て理解する。</p> <p>○当時の避難所の写真を見て、様子を知る。</p>	<p>○指導者の実体験を伝えることで災害を身近に感じさせる。</p> <p>○避難所では様々な事情を抱えた人が避難してくることを理解させる。</p>	<p>○災害時における避難生活は他人事ではないと自覚できたか。 (価値的・態度的側面)</p>
<p>展開 35分</p>	<p>○避難所を運営する活動のルールを理解する。</p> <p>○授業支援アプリを利用して活動を行う。</p> <p>○工夫点や苦勞したことについて意見を共有する。</p>	<p>○避難者の立場で考え、待たせないことを意識させる。</p> <p>○スクリーンにグループの避難所の配置を投影して、クラスで共有する。</p>	<p>○障がい者や高齢者について自分の知っている知識を活かそうとしているか。 (知識的側面)</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>○感想とグループ活動の振り返りをする。</p> <p>○今後、自分たちが暮らす地域が被災したときに何ができるか考える。</p>	<p>○避難所以外の場面でも配慮を必要とする人は身の回りにいることを理解させる。</p> <p>○被災したときに、自分たちが中心になって避難所を運営するという自覚をもたせる。</p>	<p>○災害時において、互いを尊重して行動しようとする態度が身に付いたか。 (価値的・態度的側面)</p>